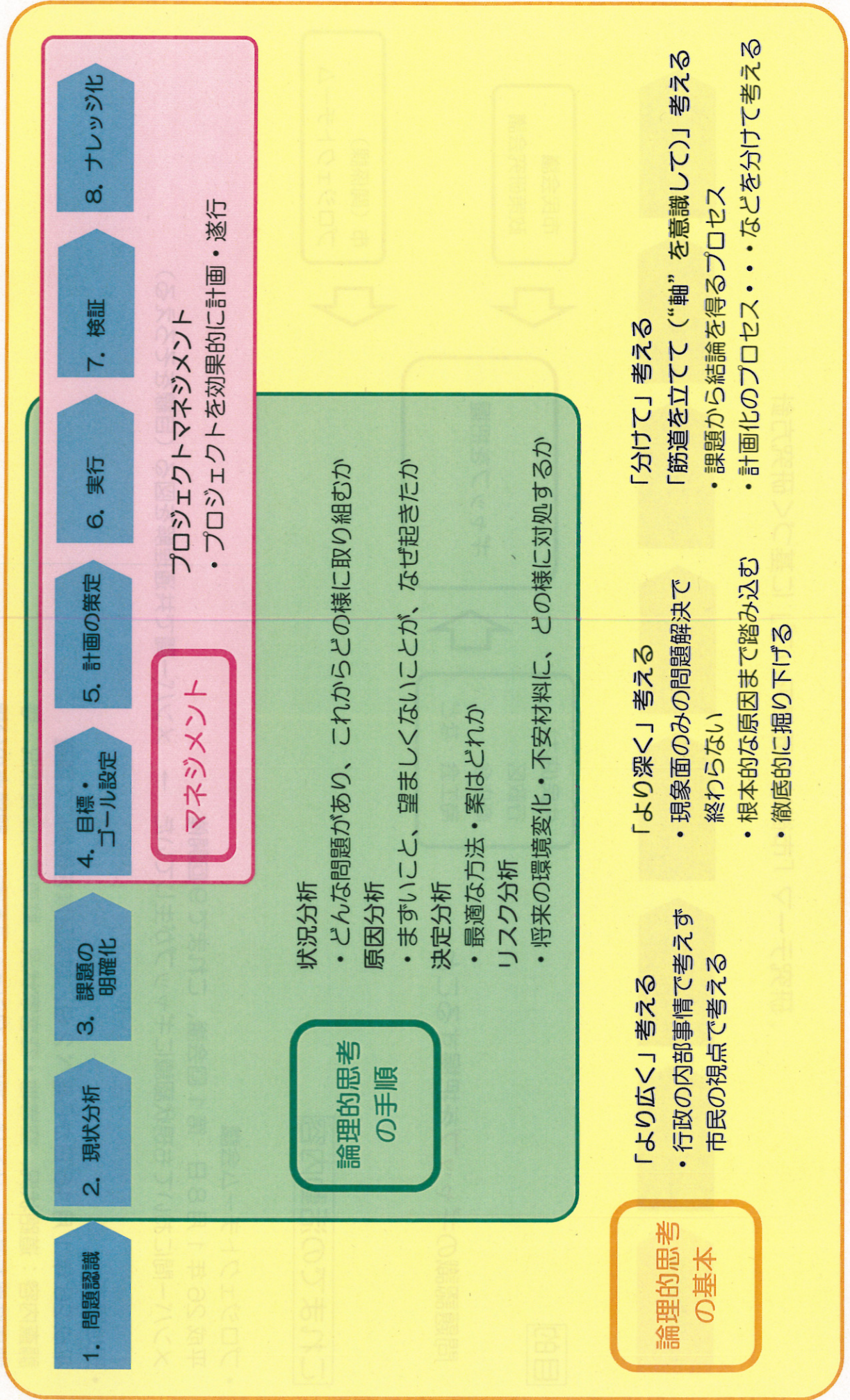
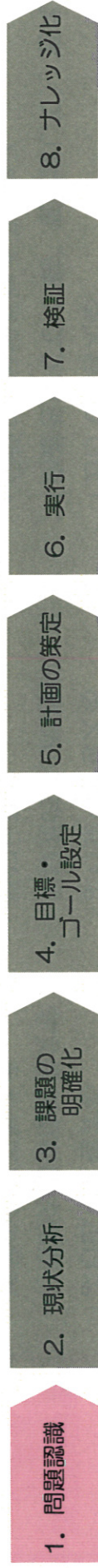


矢板市政策課題庁内研究プロジェクトチームにおける、問題解決のための思考法

PT 2014.02

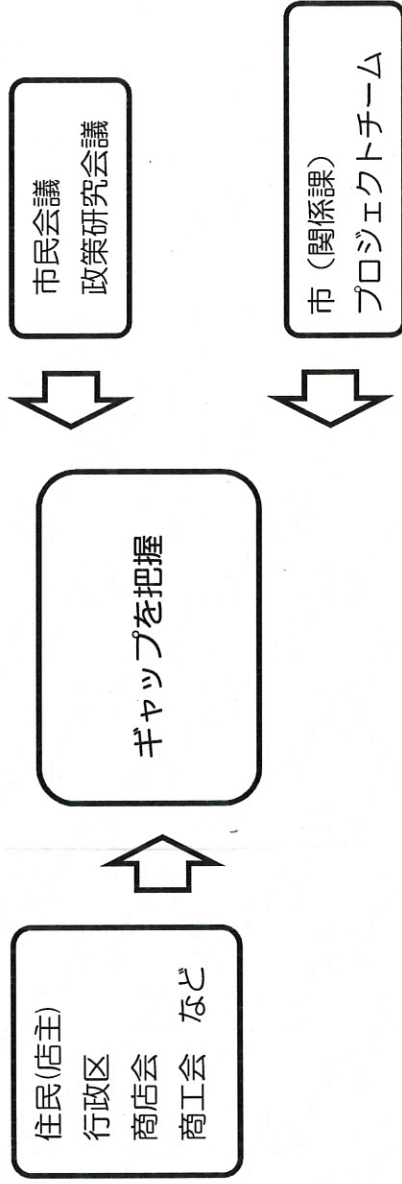


研究テーマ「市街地の元気アップ」に基づく研究方針



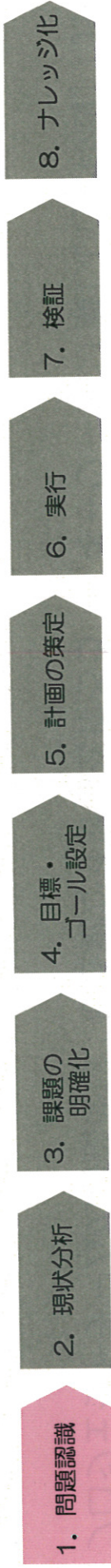
目的

問題認識のギャップを把握すること



これまでの活動内容

- プロジェクトチーム会議
平成26年1月8日 第1回会議、これまで9回開催
メンバー間においても現状認識にギャップが生じていた → メンバー間で共通理解を図る(目線をそろえる)
- 現地調査
平成26年1月15日から延べ2日、対象区域を徒歩にて調査
調査内容：道路状況、空き地・空き家状況、駐車場の保有状況等
調査結果を基に、メンバーでワークショップを実施、問題点の分析
- 先進地視察
空き家を活用した地域活性化の事例：鹿沼市(3月5日)、真岡市(3月10日)



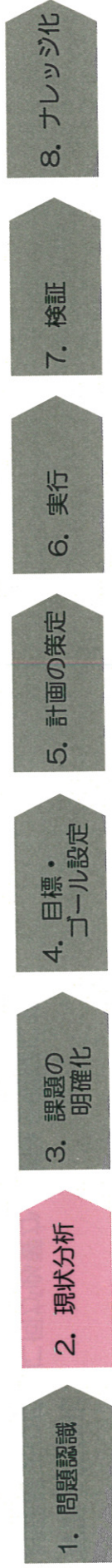
今後の予定

- 関係者との意見交換会
政策研究会議委員、商工会、六区商店会、六区行政区、関係課
それぞれの立場での現状認識、抱える問題点を把握

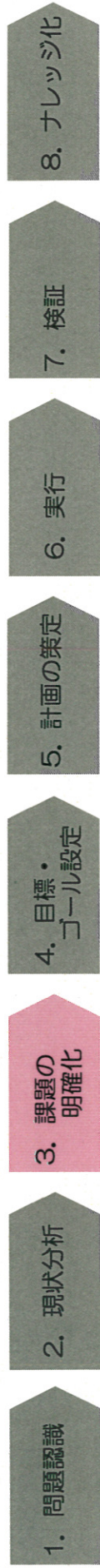
アンケート内容

- この地区の現状と今後の理想像について
- 空き地、空き家対策について
- 地区内商店について

- モデル地区を対象にアンケート調査を実施
一人ひとりの現状認識、抱える問題点を把握
住民や商店主など全戸を対象、約 150 戸
3月中旬から実施し、4月中旬に結果を集約

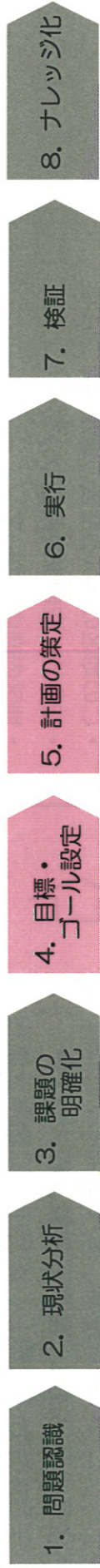


- 現状分析
関係者の意見やアンケート結果をふまえて、問題点やその原因を分析



- 課題の明確化
問題解決のために何が必要か、課題を明確にする

- 課題の分類
問題解決に必要な課題を、問題の種類に応じて分類する



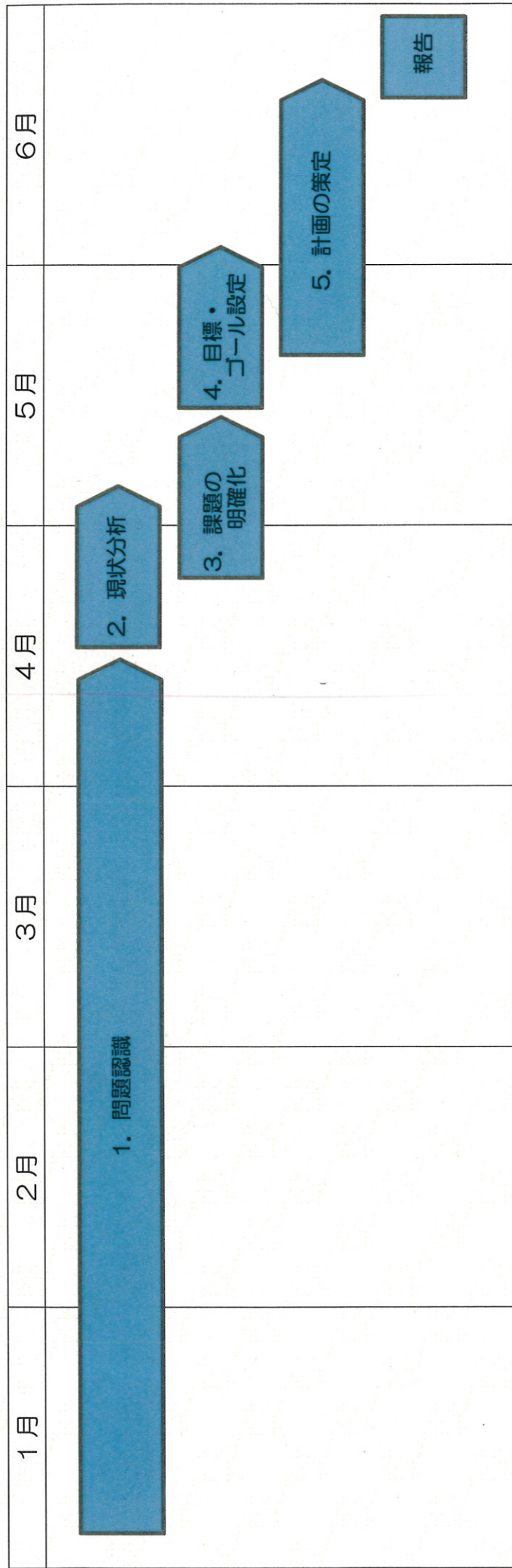
- 目標及びゴール設定
問題解決を図るため、目標及びゴールを設定する
目標は数値化する
問題解決のためのストーリーを作成する

- 計画の策定
目標及びゴールに達成させるための計画を策定する

プロジェクトチームの活動理念：心を動かす計画を作ろう キーワード：「楽しい」「仲間」「お金」

- 政策研究会議への報告
計画策定後、政策研究会議へ報告します

活動スケジュール



矢板の中心市街地の現状(PT現地調査結果)

資料 2

店舗

- 店が少ない
- 空き店舗が多い(しかも古い)
- 若者・親子向けの店がない
- 店舗兼住宅が多い
- 看板がバラバラで、景観が悪い
- 看板がない(見づらい)
- 店に入りにくい雰囲気
- 洒落た建物が点在している
- リノベーションできそうな建物がある

駐車場

- 店舗の駐車場がない(少ない)
- 小さい駐車場が点在しており、使い勝手が悪い
- 駐車場の場所がわからない
- 月極駐車場が多い

人

- 商店に買い物客が少ない
- まちなかを歩く人が少ない(高齢者ばかり)
- 朝夕、高校生は多い
- 遊べる公園がない
- 立ち話をしている人がいない(たまり場のスペースがない)

住宅・ 土地

- 空き家や空き地(50~100坪)が多い
- 建物の老朽化
- 蔵などレトロな建物が点在
- 間口が狭く、奥に長い敷地
- 賃貸物件が少ない

イン フラ・街並 み

- 街並みに統一感がなく、寂れている
- 公園が少ない
- 公衆トイレがない
- イベント広場のような空間がない
- 歩道が狭く、段差が多い。
- 歩道上の電柱や街路灯が邪魔
- 南北の道路が狭く、一方通行が多い割に通行量が多い
- 南北の主要道路がない(狭い)
- 街路樹がない

JR矢板駅西地区

中心市街地の元気アップに関する住民アンケート調査
ご協力のお願い

平成26年3月吉日

矢板市政策課題庁内研究プロジェクト
チームリーダー 斎藤 厚夫

時下、皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政全般につきまして、特段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「中心市街地の元気アップ」をテーマに、皆さまが考える地区内の課題などを把握するため、アンケート調査を行うこととなりました。何かとご多用かと存じますが、本アンケート調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケートの目的

市では、関係団体と連携して、中心市街地の活性化に取り組んでいるところではありますが、地区内人口の流出や、空き地・空き家の増加に歯止めがかからず、中心市街地の空洞化はより深刻なものになっています。

また、この様な問題が全国各地で起こる中、様々な取り組みが行われていますが、課題解決に至るケースはごく少数となっているのが現状です。

そのような中で、成功事例として挙げられる取り組みに共通していることは、地区独自の特性をうまく活かし、そこに関わる方々の心を「グッ！」とつかんでいるものであるということです。

そこで、当チームは、地域の現状から必要と思われる施策を示したうえで、皆さま一人ひとりのお考えを伺うことにより、私たちとの意識や考え方の相違を把握するため、アンケート調査をいたします。そして、アンケートの結果をふまえ、この地区の「元気アップ」にむけて、皆さまの心を揺り動かすことができるような施策を立案していきたいと考えています。

《 アンケート調査に関するお問い合わせ 》

矢板市政策課題庁内研究プロジェクトチーム

担当者：斎藤 厚夫（放射能汚染対策課）

〒329-2192 矢板市本町5番4号

TEL:0287-43-1114/FAX:43-2292

E-mail:yaita@city.yaita.tochigi.jp

【誓約事項】

- ・本調査で取得した個人情報等は、厳重に管理し、目的外での使用はいたしません。

- 皆さまからご回答いただいたご意見が、どのように施策に反映されるかを示したイメージ図です。

【市の考える課題】 地域の現状から必要と思われる施策の抽出

【既存の資源を活かす】

(例) 商店街の賑わいをとりもどす
空き地、空き家の活用を促す
住民同士のつながりを深める
※今回はこちらのテーマに取り組みます

【新たなまちを創造する】

(例) 道路網の整備
道路拡幅や歩道の整備
駅西地区の区画整理や再開発 など
※長期的には必要ですが、今回のテーマには含みません



【皆さまが考える地域の課題】 一人ひとりの考えを伺います

① 地域に住む住民や商店主の方が考える課題を把握するためアンケート調査を実施します



② アンケート用紙をお預かりする際に、直接お話をお伺いすることで、紙面だけでは見えてこない潜在的な意見に耳を傾けます



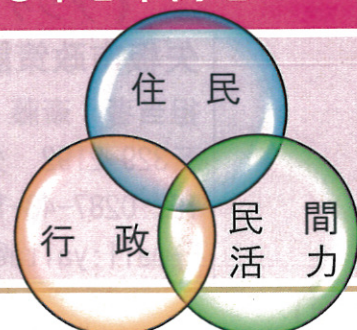
【施策の立案】 皆さまの心が動く施策を考えます

- アンケート結果をふまえて、市の考える課題との相違を正確に把握したうえで、皆さまの心を動かすことができるような施策を立案します



【施策の実施】 皆さまと一緒に元気ある中心市街地へ

- これまでの行政主導のまちづくりから、皆さまが本当に求める施策を一緒に取り組むことにより、元気のある中心市街地をとりもどします。

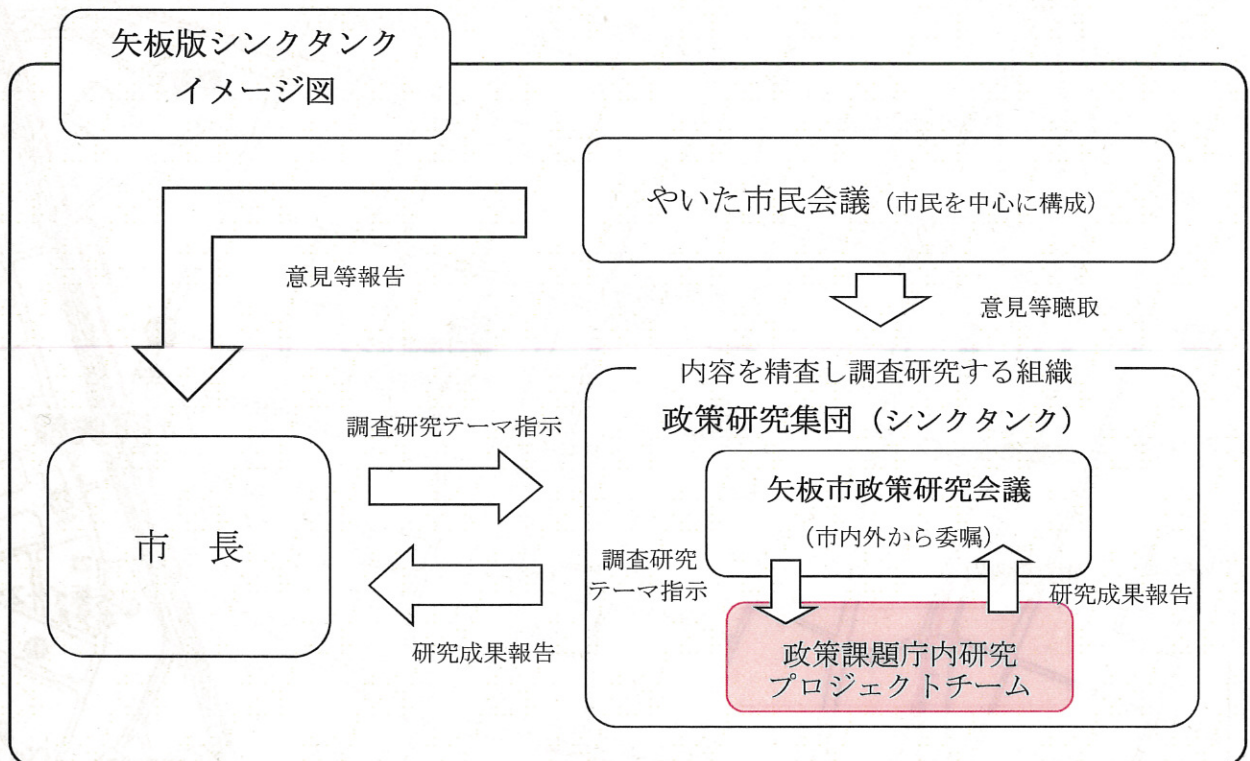


矢板市政策課題庁内研究プロジェクトチームについて

当チームは、このたび設立されました「矢板版シンクタンク（下図参照）」に属し、市の若手職員 10 人で活動しています。

「やいた市民会議」で出された、市に対する様々な提言をもとに、「矢板市政策研究会議」から指示されたテーマについて、調査研究を行っています。

今年の 6 月頃までに調査研究の結果をまとめ、矢板市政策研究会議に報告する予定です。



当チームのメンバーを紹介します。

このたびのアンケート調査で、皆さまのお宅にお伺いさせていただきます。



中心市街地の元気アップに関する住民アンケート

家族や同居者の代表者が記入してください。

ふりがな お名前：	性別： 男 ・ 女	年齢： 歳
ご住所：		
連絡先： (自宅・携帯)		

1. あなたの家族や同居されている方について、お伺いします。

(1) 家族構成について、あてはまるものに○(マル)をつけてください。

本人(上の欄「代表者」との関係)

1. 父
2. 母
3. 子 (人)
4. 孫 (人)
5. 祖父
6. 祖母
7. その他 ()

2. あなたのお住まいについて、お伺いします。

(1) いまの場所に代々住まれて何年になりますか？
あてはまるものに○(マル)をつけてください。

1. 1年未満
2. 1年以上 5年未満
3. 5年以上 10年未満
4. 10年以上 30年未満
5. 30年以上

(2) いま住んでいる土地の所有について、あてはまるものに○(マル)をつけてください。

1. 家族や同居者の所有地
2. 借地

(3) いま住んでいる建物の所有について、あてはまるものに○(マル)をつけてください。

1. 家族や同居者の持家
2. 借家

(4) いま住んでいる土地や建物について、将来はどうしたいですか？
あてはまるものに○(マル)をつけてください。

1. 次の世代が住む予定
2. 次の世代が住む予定はないが、土地や建物は手放したくない
3. 次の世代が住む予定はないので、いずれ誰かに貸したい
4. 次の世代が住む予定はないので、いずれ手放したい

3. お住まいの地区について、お伺いします。

(1) この地区に住んでいて良いところは、なんですか？
あてはまるものすべてに○(マル)をつけてください。

1. 駅が近い
2. 商店が多い
3. 金融機関や郵便局が近い
4. 近所付き合いがある
5. 地域活動(※)が盛んにおこなわれている

※地域活動とは、行政区(自治会)や地区公民館、育成会などの活動をいいます

6. その他

[

]

(2) この地区に住んでいて良くないところは、なんですか？（道路などは除く）
あてはまるものすべてに○（マル）をつけてください。

1. 空き地や空き家が多い
2. 商店に活気がない
3. 買い物が出来る商店が少ない
4. 近所付き合いが少ない
5. 地域活動が盛んでない
6. その他

[

]

(3) 地域活動に参加していますか？
あてはまるものに○（マル）をつけてください。

1. 参加している → 4へお進みください
2. 参加していない

(4) 地域活動に「参加していない」とお答えした方にお伺いします。
参加していない理由はなんですか？
あてはまるもの2つ以内に○（マル）をつけてください。

1. 参加したいが、どんな活動をやっているのか、わからない
2. 時間的な余裕がない
3. 参加するのが面倒くさい
4. 興味がない

4. 近所の空き地や空き家について、お伺いします。

(1) 近年、空き地や空き家が増えていますが、なぜ増えたと思いますか？
ご自由にお書きください。

[

]

(2) 住民の安全・安心のために、空き地や空き家を適正に管理するための「きまり」(条例など)は必要だと思いますか。
あてはまるものに○(マル)をつけてください。

1. 必要である
2. わからない
3. 必要ない

そう思った理由をお書きください。

[]

(3) もし、空き地や空き家のあっせん制度(※)があったら活用しますか？
あてはまるものに○(マル)をつけてください。
※あっせん制度とは、お持ちの空き地や空き家を貸したい方と借りたい方を紹介する制度

1. ぜひ活用したい
2. わからない
3. 活用するつもりはない

「3. 活用するつもりはない」とお答えした方は、そう思った理由をお書きください。

[]

(4) その他、空き地や空き家の活用について、良いアイデアがあればお書きください。

[]

(5) 地区外住民（よそ者）が、お住まいの地区に住むことや、事業を始めることをどう思いますか？ あてはまるものに○（マル）をつけてください。

1. 歓迎する
2. どちらかといえば歓迎する
3. どちらかといえば抵抗がある
4. 抵抗がある

そう思った理由をお書きください。

[]

5. お住まいの地区の商店などについて、お伺いします。

(1) 地区内の商店を利用していますか？（大型スーパーでの買い物を除く）
あてはまるものに○（マル）をつけてください。

1. している → どんなものですか？あてはまるものすべてに○（マル）をつけてください。
 - ア. 飲食
 - イ. 食料品
 - ウ. 衣料品
 - エ. 生活雑貨
 - オ. その他 []

2. していない → 理由 []

(2) 近く（歩ける範囲）にあったらよい商店（業種・サービスなど）はありますか？
ご自由にお書きください。

[]

6. お住まいの地区の今後（理想像）について、お伺いします。

このままいくと、商店街が衰退し、また少子高齢化などにより、人と人とのつながりが薄れてしまうことが予想されます。

将来的には、道路整備や区画整理などの再開発が必要かもしれませんが、いまできることをお考えいただきたいと思います。

(1) この地区には、何が不足している（何が必要である）と思いますか？

[]

(2) この地区を、今後どのようにしていきたいと思いますか？

[]

(3) そのために、あなたに出来ることは何だと思いますか？

[]

7. その他

(1) いま、お店などを営業していますか？
あてはまるものに○（マル）をつけてください。

1. はい → 8へお進みください
2. いいえ

(2) 「いいえ」とお答えした方にお伺いします。
昔はお店を営業していましたか？
あてはまるものに○（マル）をつけてください。

1. はい
2. いいえ → 8へお進みください

(3) 「はい」とお答えした方にお伺いします。
お店をやめた理由はなんですか？
あてはまるもの2つ以内に○（マル）をつけてください。

1. 営業不振
2. 後継者がいなかった
3. 店舗の老朽化
4. その他

[

]

8. この地区に対する、皆さまの思いなどをご自由にお書きください。

[

]

ここから先は、現在お店などを営業する方にお伺いします。

お店を営業していない方のアンケートは、これで終了です。皆さまからいただいたご意見を基に、皆さまの心を動かすことができるような施策を立案してまいります。
ご協力ありがとうございました。

9. あなたが営業する店舗についてお伺いします。

(1) 店舗の業種は何ですか？あてはまるものに○（マル）をつけてください。

1. 飲食業
2. 食料品の小売業
3. 衣料品の小売業
4. 生活雑貨等の小売業
5. その他

[

]

(2) 創業して何年になりますか？あてはまるものに○（マル）をつけてください。

1. 1年未満
2. 1年以上 5年未満
3. 5年以上 10年未満
4. 10年以上 30年未満
5. 30年以上

(3) 現在の店主は、創業してから何代目になりますか？

あてはまるものに○（マル）をつけてください。

1. 1代目
2. 2代目
3. 3代目
4. 4代目
5. 5代目以上 → (代目)

(4) 店主の性別と年齢をお伺いします。

1. 性別 : 男 ・ 女
2. 年齢 : _____ 歳

(5) 現時点での、経営上の問題点は何ですか？

あてはまるもの3つ以内に○（マル）をつけてください。

1. 問題ない（特になし）
2. 売り上げの減少
3. 来客数の減少
4. 後継者がいない
5. 店舗の老朽化
6. 大型店との競争
7. その他

[]

(6) 今後概ね 10 年間の経営をどう考えていますか？

あてはまるもの1つに○（マル）をつけてください。

1. 店舗を拡大
2. 現状維持
3. 店舗を縮小
4. 店舗を移転（地区内）
5. 店舗を移転（地区外）
6. 店をやめる
7. その他

[]

アンケートは以上です。

皆さまからいただいたご意見を基に、皆さまの心を動かすことができるような施策を立案してまいります。ご協力ありがとうございました。